

メモリード
・ライフ

初の保険金支払いを実行

高齢入居者保険アンド・ユー

メモリード・ライフ
(東京都文京区)
古川誠社長(62)

高齢者入居者保険「アンド・ユー」を販売するメモリード・ライフ(東京都文京区)が、販売開始から約3年で初の保険金支払いを実行した。これまででは被保険者のなかで死亡者が出ていなかった。

た。

被保険者は高齢者住宅に住んでいた67歳の男性で、契約から6カ月が少し経った後に死亡した。死因は心不全。住居内で倒れているところを別居中の妻が発見した。契約者は被保険者が住む高齢者住宅のオーナーであり、運営も行う円プランニング(京都府京都市)。支払われた保険金は10

0万円。円プランニングでは、高齢者住宅の入居契約の際に入居者に対して、入居者を被保険者とし契約者並びに保険金受取人を同社とするアンド・ユーの契約を説明してきた。受け取った保険金は被保険者の葬儀、遺品整理、埋葬と、居室クリーニングの費用に充てられるという。保険料の支払いは円プランニングが負担している。

入居半年後の急死で驚いた

円プランニング
(京都府京都市)
馬淵敏文社長(67)

亡くなられた入居者は、67歳の男性で元気だった。入居から半年しか経過しておらず、突然の事であったため非常に驚いている。賃貸住宅や高齢者住宅の

運営を行っているが、入居者が亡くなったのは今回が初。保険金が支払われたことで、居室のリフォーム費や、死亡により貸し出しできなくなった期間の賃料を補うことができた。保険金は受け取るためにかけているのでリスクをカバーできて良かったと思っっている。